

【研究シーズテーマ】

# 伝統構法木造軸組の耐震性に関する研究

 工学部 建築工学科 准教授 **山田 明**


工学

**Keyword**
**伝統構法／木造住宅／耐震設計／耐震補強**


## 【研究シーズの概要】

伝統構法による木造軸組は、地震に対して柱梁仕口のほぞ・土壁などが粘り強く耐えながら抵抗するという特徴があります。そのような木造建築物の価値が見直され、それらの耐震性能を把握するとともに、耐震補強法に関する研究も盛んに行われています。その中でも『土壁』に着目し、さまざまな仕様の土壁の耐震性能を明らかにするための実験に取り組んでいます。また、施工現場の実状を考慮した簡易施工法による耐震補強を試設計し、その効果の検証も行っています。



土壁の実験状況

## 【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 耐力壁の条件を満足しない雑壁仕様の土壁の耐震性能を評価します。
- 耐震設計思想を超える連続的な地震動を受けたときの土壁の劣化を評価します。
- 損傷した土壁の修復効果を評価します。

## 【産業界での展開・用途】

- 既存木造建築物の耐震性能評価
- 文化財等の木造建築物の維持管理

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963  
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail [kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp](mailto:kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp)